

1 課題を抱える業務の内容

水道施設の適切な維持管理においては、漏水を早期に発見し修理することで、事故を未然に防ぐ取組みを進めていますが、それでも多くの漏水は、一般の方からの通報により対応しているのが実情です。河川の水質事故では、ほとんどが関係機関からの通報となっています。

一方で、スマートフォンの普及により、漏水事故や水質汚染を疑わせるような写真が、驚くほどのスピードでSNSに投稿され、拡散していきます。

2 課題の詳細

漏水事故や水質汚染の情報がすぐに入手できれば、通報システムよりも迅速に被害箇所等を把握することができます。

現在、一般からの通報を受けるシステムが開発されていますが、事前にアプリを登録するなどの準備が必要で、情報提供者には限りがあるため、これと併用して、SNSのサイトを巡回し必要な情報の収集と併せ、行政ネットワークとの連携が可能なシステムが望まれます。

3 こんな技術を求めています！

- 一般の方が、漏水や水質事故を通報し、地図情報に表示できるシステム
- SNS等のサイトを巡回し、給水区域内の漏水や水質に関する写真・位置情報の収集システム
- 行政ネットワークとの連携により、水道事業者が整備している水道施設台帳との情報共有が図れるシステム